

西洋建築史  
試験問題

中島智章

1.次の問いに答えて、要求されたイラストを描け。 配点:10点

初期キリスト教聖堂の代表的建造物として、ローマの四大聖堂の名称をすべて書け。また、初期キリスト教聖堂の断面略図を堂内の採光法が分かるように描き、略図にディテール名を三つ書入れよ。

5種類のオーダー 1) 2)  
1) 4)

配点:4問×1点=4点

初期キリスト教聖堂の断面略図

配点:イラスト3点(上=3点、中=2点、下=1点、なし=0点)  
ディテール名 3問×1点=3点

2.次の建築作品・著作の施主または作者を右の3群の中から選び、解答欄に数字で記入せよ。 配点:15問×3点=45点

- 01) コロッセウム(ローマ) アウグストゥス帝 ウェスパシアヌス帝 ハドリアヌス帝
- 02) 13世紀ピカルディ語で書かれた『画帖』 シュジェール ヴィラルール・ドゥ＝オヌクール マテュー・ダラス
- 03) リールのシタデル コンデ大公ルイ12世 テュレンヌ元帥 ヴォーバン元帥
- 04) オスバダーレ・デリ・インフエンティ(フィレンツェ) アルノルフォ・ディ・カンピオ フィリッポ・ブルネッレスキ フィラレーテ
- 05) サン・ジョルジョ・マッジョレ聖堂(ヴェネツィア) フィラレーテ ミケランジェロ・ブオナローティ アンドレア・パラディオ
- 06) アンボワーズ城館中庭ファサード アンボワーズ枢機卿 ルイ12世 フィリベール・ドゥ・ロルム
- 07) クイーンズ・ハウス(ロンドン) アンドレア・パラディオ イニゴ・ジョーンズ ジュール・アルドゥアン＝マンサール
- 08) サンタ・スザンナ聖堂(ローマ) パルダッサレ・ベルツィ カルロ・マデルノ ジャンロレンツォ・ベルニーニ
- 09) サン・カルロ・アル・クワットロ・フォンターネ聖堂 アンドレア・パラディオ フランチェスコ・ボッロミーニ カミッロ・ボイト
- 10) ヴォー＝ル＝ヴィコンテ城館 ルイ・ル・ヴォー ジュール・アルドゥアン＝マンサール クロード・ペロー
- 11) 上ベルヴェデーレ宮殿(ウィーン) ヨハン・ルーカス・フォン・ヒルデブラント ダーフィット・ジリー ジョン・ソーン
- 12) サンタントワーヌ門(パリ) ヴォーバン元帥 クロード・ペロー アンジュ・ジャック・ガブリエル
- 13) スーピーズ邸館内装(パリ) シャルル・ル・ブラン ロベール・ドゥ・コット ジェルマン・ボフラン
- 14) 『ローマの古代建造物』 アントワーヌ・デゴデ クロード・ペロー シャルル・エドゥアール・ジャヌレ
- 15) アルテス・ムゼウム(ベルリン) カール・ゴットハルト・ラングハンス フリードリヒ・ジリー カール・フリードリヒ・シッケル

01) 02) 03) 04) 05) 06) 07) 08) 09) 10) 11) 12) 13) 14) 15)

3.次の文章中の空欄を適切に埋める名詞を解答欄に記入せよ。 配点:15問×3点=45点

- 1)のa)、2)のa)、b)は古典表記に基づくカタカナ、その他は漢字か現代語発音に近いカタカナ表記。それ以外は0点。  
4)、5)の人名はフルネームで記すこと。名字のみは1点。個人名のみは0点。アルファベット表記は0点。

- 1) 現存する最古の建築書『建築十書』を著した(a )は、その第3書と第4書で宗教建築 a)  
について語り、その平面形式、率面形式、そして神殿を取り巻く円柱の三つの様式につい b)  
て詳説している。そのなかで彼は円柱の比例を人体比例にたとえており、(b )式は男 c)  
性、(c )式は婦人、コリント式は乙女のプロポーションを表しているという。
- 2) 東ローマ帝国は6世紀前半の(a )大帝の頃に最盛期を迎え、首都(b )にはハギ a)  
ア・ソフィア大聖堂が建立された。この大聖堂は帝国の威信をかけて建造され、世界最大 b)  
の煉瓦造建築であるにもかかわらず、わずか5年で完成した。そこでは正方形平面の上に c)  
クーポラを架けるために、(c )・ドームと呼ばれる構造上の工夫が凝らされている。
- 3) 都市や軍事拠点が高い城壁で囲んで防御する垂直式防御の時代は火器の組織的な a)  
使用が始まるとともに終わりを告げ、16世紀初頭に(a )式築城術という新たな拠点防御 b)  
法がイタリアで考案された。多角形平面の角に(a )(日)=(b )(英)が突き出してい c)  
て、これにより十字砲火を可能にしている。その間にはさらに(c )堡が設けられた。
- 4) (a )とは直訳すると「再生」という意味であり、建築の分野では古代建築に着想の源 a)  
を求めた建築のことをいう。様々な特徴のなかで、透視図法的な空間把握をするという点 b)  
も挙げることができ、T字型平面をラテン十字形平面に見せかけようという工夫のみられる c)  
(b )が設計したミラノの(c )教会堂にその神髄をみることができる。
- 5) 1752年、フランスのイエズス会士(a )は著書『建築試論』で理念的な建築の原初の a)  
姿を提示し、そこから建築にとって真に本質的な要素は、円柱、梁、三角破風だけだと主 b)  
張した。これらはオーダーの用語でいうと、コラム、(b )、ペディメントにあたる。建築家 c)  
(c )はサント・ジュヌヴィエーヴ聖堂で(a )の理論を実践に移したといわれている。